

**1998年10月改訂(新様式第1版)

*1997年6月改訂

貯法	気密容器 室温保存 「取扱い上の注意参照」
使用期限	包装に表示の使用期限内 に使用のこと

漢方製剤

KTS[®] 胃 苓 湯 エキス顆粒
イ レイ トウ

KTS-M-115

日本標準商品分類番号

875200

承認番号 (61AM)4193

薬価収載 昭和62年10月

販売開始 昭和62年10月

【組成・性状】

1. 組成

9.0g中

ソウジュツ……………3.0g ビャクジュツ……………3.0g
 コウボク……………3.0g ブクリョウ……………3.0g
 チンピ……………3.0g ケイヒ……………2.5g
 チョレイ……………3.0g タイソウ……………1.0g
 タクシャ……………3.0g ショウキョウ……………1.0g
 シャクヤク……………3.0g カンゾウ……………1.0g
 上記の混合生薬より製した胃苓湯水製エキス(乾燥エキスとして)4.2gを含有

2. 製剤の性状

(1)製剤の性状

褐色の顆粒で、味は初め甘く、のち苦く、特有のにおいがある。

(2)分包の識別記号

KTS-M-115

【効能・効果】

水瀉性の下痢、嘔吐があり、口渇、尿量減少を伴う次の諸症：

食あたり、暑気あたり、冷え腹、急性胃腸炎、腹痛

【用法・用量】

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- * (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- (3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。(「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は、尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3. 副作用

** 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1)重大な副作用

** 1)偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定など)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

** 2)ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

過敏症：発疹、発赤、痒痒等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

** 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること。

**6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。
[使用経験が少ない]

【取り扱い上の注意】

吸湿性が強いので、開封後は特に吸湿に注意すること。

【包装】

500 g

3.0 g × 294包


【文献請求先】

株式会社 建林松鶴堂 学術部

〒110-0015 東京都台東区東上野4-3-1

本草製薬株式会社 営業本部

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目6番21号

販売元  本草製薬株式会社
名古屋市天白区古川町125番地

製造元 株式会社 **建林松鶴堂**
東京都台東区東上野4-3-1

KTS-M-115